

震災、原発事故によって失われた浜通りの産業・雇用を回復するため、廃炉やロボット技術に関連する研究開発、エネルギー関連産業の集積、先端技術を活用した農林水産業の再生、未来を担う人材の育成強化などを通じて新たな産業・雇用を創出し、住民が安心して帰還し、働けるよう、浜通りの再生に取り組んでいきます。

イノベーション・コースト構想 推進会議

原子力災害現地対策本部長を座長とし、知事、地元市町村長、有識者、関係省庁等で構成されるイノベーション・コースト構想推進会議（平成26年12月設置）において、イノベーション・コースト構想の実現に向け、関係者が一丸となって各プロジェクトを推進していきます。



ロボットテストフィールド



災害対応ロボット等の実証試験や性能評価を行う。

<進捗状況等>

構想 設計 着工 完成

H28.9～：設計等

国際産学官共同利用施設(ロボット)



国内外の研究者等が集い、ロボットの基礎的・基盤的な研究等を行う。

<進捗状況等>

構想 設計 着工 完成

H28.10～：設計等

情報発信(アーカイブ) 拠点施設



中野地区復興産業拠点整備予定地

東日本大震災及び原子力災害の実態と復興への取組を正しく伝え、教訓として、国を越え、世代を超えて継承・共有していく。

<進捗状況等>

構想 設計 着工 完成

H28.4～：構想等



福島県 浜通り地方の再生

大熊分析・研究センター (放射性物質分析・研究施設)



燃料デブリ等の性状把握、処理技術開発を行う。

<進捗状況等>

構想 設計 着工 完成

H28.9～：建設工事等
H29年度：一部運用開始予定

廃炉国際共同研究センター 国際共同研究棟



国内外の大学、研究機関、企業等が集結し、廃炉研究と人材育成を行う。

<進捗状況等>

構想 設計 着工 完成

H28.4～：建設工事等

H29.4：開所予定

櫛葉遠隔技術開発センター (モックアップセンター)



原子炉格納容器の調査・補修用ロボット等の開発・実証実験を行う。また、計測機器、工作機械等の設備は、中小企業等など一般による利用が可能。

H28.4～：全面運用開始

その他の主なプロジェクト

- ◆技術者研修拠点
- ◆国際産学官共同研究施設 (放射線の知識を必要とした多様な研究分野)
- ◆大学教育拠点
- ◆スマート・エコパーク
- ◆エネルギー関連産業プロジェクト (スマートコミュニティ形成、水素によるエネルギー貯蔵・効率の利用など)
- ◆農林水産分野プロジェクト (農業用ロボットの開発・実証、CLTの推進、水産研究拠点など)